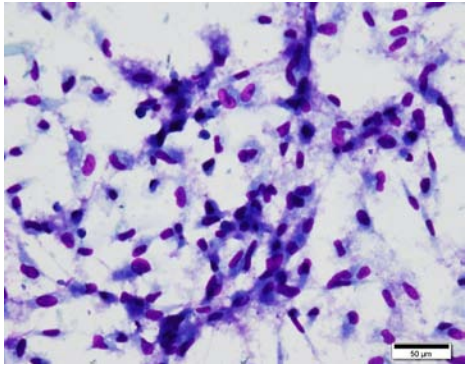


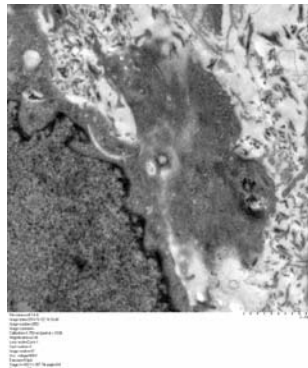
# $\beta_2$ -ミクログロブリンアミロイド線維は、ウサギ滑膜線維芽細胞に取り込まれて細胞毒性を発揮する

研究分担者: 福井大学医学部分子病理 内木 宏延

図.  $\beta_2$ -ミクログロブリン ( $\beta_2$ -m)の細胞傷害効果

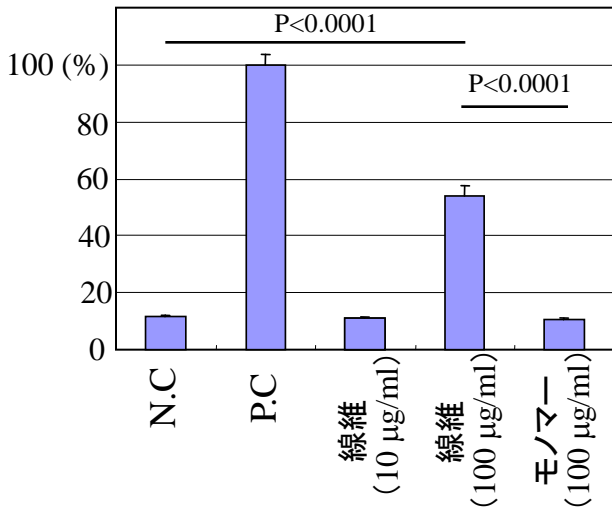


アミロイド線維含有 (100  $\mu\text{g/ml}$ )  
mediumで1日培養後

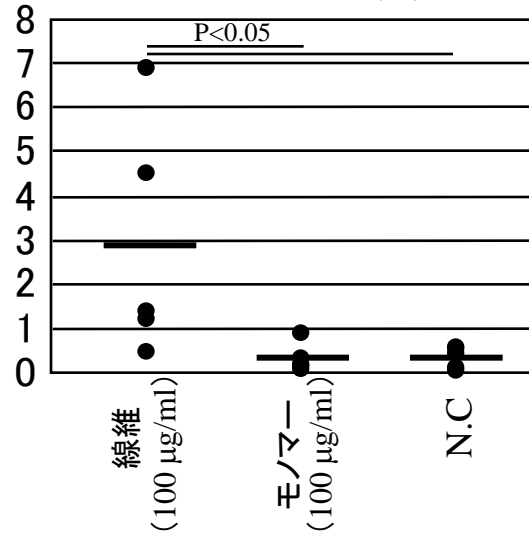


アミロイド線維含有 (100  $\mu\text{g/ml}$ )  
mediumで6時間培養後

LDH release assay



TUNEL陽性率(%)



1.  $\beta_2$ -ミクログロブリン ( $\beta_2$ -m) アミロイド線維は長期血液透析患者組織の関節、腱組織に沈着し、透析アミロイドーシスを引き起こす。
2. 我々は、 $\beta_2$ -mアミロイド線維がウサギ滑膜線維芽細胞の壊死及びアポトーシスを引き起こすことを明らかにした。 $\beta_2$ -mアミロイド線維は細胞内に取り込まれ、エンドソーム膜、リソソーム膜の破壊などを介して壊死及びアポトーシスの両者を引き起こすことで毒性を発揮すると考えられる。
3. この知見は、 $\beta_2$ -mアミロイド沈着による骨・関節破壊の病態に、 $\beta_2$ -mアミロイド線維による直接の細胞傷害効果が関与している可能性を示唆している。